

各位

佐世保重工業株式会社

「2023年3月期 第2四半期決算」に関するお知らせ

1. 当第2四半期連結決算の状況（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 損益状況

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期 第2四半期	5,839	▲40	124	249
2022年3月期 第2四半期	11,560	412	457	▲308

(2) 売上高のセグメント別内訳

(単位：百万円)

	新造船	修繕船	機械	その他	合計
2023年3月期 第2四半期	—	4,396	1,172	270	5,839
2022年3月期 第2四半期	6,494	3,741	1,033	290	11,560

(注) 百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当第2四半期の業績について

当連結会計年度は、前連結会計年度に実行した新造船事業の休止、修繕船事業と機械事業への経営資源の集中、連結子会社の統廃合など、当社グループの抜本的事業構造改革後の初の会計年度となります。当第2四半期における連結売上高は、新造船事業休止により5,839百万円(前年同期比5,721百万円減)となりました。セグメント売上高では、主力事業の修繕船事業において巡視船や一般商船の修繕工事にも積極的に取り組んだことにより前年同期比655百万円(17.5%)の増加、機械事業においては主力製品であるクランク軸に加えて鍛鋼軸類や船用主機関用連接棒の拡販に努めたことから前年同期比139百万円(13.5%)の増加となり、両事業合計では前年同期比794百万円(16.6%)の増加となりました。

連結営業利益は、修繕船事業における当社初施工大型艦船の定期検査工事の採算低下や機械事業における主要材料である鋼塊価格の高騰により40百万円の損失(前年同期412百万円の黒字)となりましたが、配当金収入の増加などにより連結経常利益は124百万円(前年同期457百万円の黒字)、当期純利益は249百万円(前年同期は早期退職関連費用を特別損失として計上した影響もあり308百万円の損失)となりました。

前年度に始動した当社の事業再構築計画は順調に進捗し、修繕船事業においては旧新造船事業部員の技術・技能の習熟度も上がり、本年10月に新造船建造用ドックから修繕船併用ドックへの改修が完了した第4ドックをフル活用して下半期に見込まれる大型客船工事などの積極的な取り込みや第1ドックの海上保安庁巡視船専用化などの事業構造改革を加速し、機械事業部においては材料調達政策を抜本的に見直すなど、本年5月に公表しました通期業績予想(売上高105億円、営業利益1億円)の必達に向け、グループ挙げて取り組んでまいります。

以上

【問い合わせ先】

佐世保重工業株式会社
経營業務部 川口、小川、惠濃
(0956-25-9111)